指導者の名前の横にマークを記入する。保育案の中で主にかかわる遊びの横に、指導者のマークを記入する

令和５年　　月　　日（　）　　　　歳児　　組　　　　保　育　案　　　　指導者名　●●●●　☆　　△△△△♪

ねらい・内容を書く際は、子どもが主語になるように記載すること・計画案として記入する内容は黒字で、保育終了後に記入する内容は赤字にすること

| ねらい | 〇　＊ねらい欄には、前日の幼児の姿から、その日に育てたい指導のねらい（心情・意欲・態度）を、教師の願いをもとにして考え、記載する。<br>その際、幼児の興味関心や遊び・生活への取り組み方を踏まえて考える。 | 内容 | ＊内容欄には、その日のねらいを達成するために、幼児が興味・関心をもち、経験するであろう具体的な活動について、どのような心情・意欲・態度で行うのかを記入する |
|---|---|---|---|

8:45~9:00

＊一日の生活の流れを左から右へ、おおよその時間軸で記入する。幼児の遊びの様子によって時刻を変更することもある。

＊予想される幼児の活動について、マップ型で一つ一つ記入する

◆みんなが経験する活動

・クラスやグループの子ども全体で行う活動について記入する。主に一日の生活の流れがわかるように記入する

◇一人一人がつくり出す活動

・様々な遊びが予想されるが、その中で、教師が今の子どもに大事にしたい、経験させたい遊び(例えば、やっと思いを出せるようになったＡちゃんにとって、この遊びを取り上げることは、自信につながるだろう・Ｂちゃんがやり始めた遊びを継続することで、周りの子どもの目が向くきっかけになるだろう・この時期にしかできない遊びだから、ぜひ経験させたいなど）について、3～4個の遊びを選択し、記載する。

〇環境をどのように構成するのか

・幼児の自発的な活動としての遊びを生み出すための物的・空間的環境を記入する

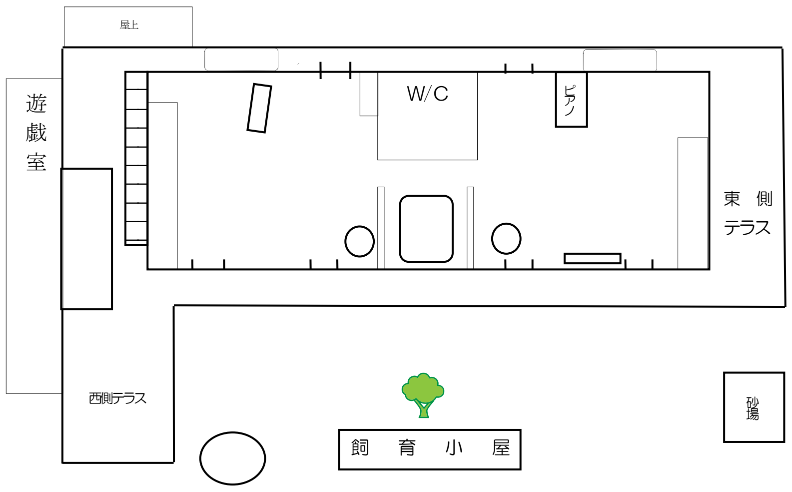
・様々な遊具や用具、素材について、ものの質や量をどう選択し、空間をどう設定するかを考え、具体的に記入する

♡教師の援助

・教師がその遊びや幼児にどうかかわるのかを記入する

一人一人の発達に応じた援助のタイミングや援助の仕方を具体的なイメージをもって記入する

・教師の段どりにならないように注意する




＊個のねらい

・その遊びを通して特に配慮する幼児、育てたい幼児について記入する

・保育終了後、赤字で遊びの状況・個の様子などを具体的に記録し、翌日の保育に活かす

反省・評価

保育終了後、その日のねらいに対しての反省評価を朱書きする

予想される活動　（◆みんなが経験する活動　◈当番活動　◇一人一人が作り出す活動）　環境構成（〇）　援助（♡）　個人番号…〇は女児　反省・評価・記録…赤字